

第 15 回千葉県サッカードクター医科学研究会開催報告

千葉県サッカー協会医学委員 齊藤雅彦

2025 年 3 月 15 日、第 15 回千葉県サッカー医科学研究会を開催いたしました。今回も千葉メディカルセンターにて開催とし、56 名の方にご参加いただきました。

一般演題では、ユース世代のサッカーチームに関わる 3 名の演者より、それぞれのチームにおける取り組みについてご発表いただきました。

特別講演では、神戸大学整形外科の松下雄彦先生をお招きし、サッカー選手における前十字靱帯損傷および半月板損傷に対する治療について、ご自身のご経験と最新の知見に基づいたご講演をいただきました。いずれの演題も、サッカー選手の診療において非常に重要なトピックであり、学びの多い内容となりました。

また、研究会終了後には、コロナ禍以降初となる全体懇親会を開催し、本研究会の目的のひとつである、サッカー現場に関わる参加者同士の交流の場としても、大変有意義な時間となりました。

なお、本研究会は久光製薬株式会社のご協賛により開催されました。

【プログラム】

16:00-16:10 「協賛社プレゼンテーション」

久光製薬株式会社

16:10-16:15 「開会挨拶」

千葉県サッカー協会医学委員長 土屋 敢先生

一般演題

16:15-17:00 「大学女子サッカー選手におけるトレーニング前後の動的膝関節外反角度の変化」

松戸整形外科病院 篠原 陸先生

「VONDS 市原 Jr ユースにおける傷害調査と予防の取り組み」

みどりの葉記念病院 大澤 勇太先生

「J リーグアカデミーの外傷・障害調査とメディカルチームの取り組み」

ジェフユナイテッド市原・千葉アカデミー 西潟 亘先生

特別講演

17:00-18:00 「前十字靱帯損傷と半月板損傷治療の現状と課題」

神戸大学大学院 整形外科 特命准教授 松下 雄彦先生

18:05- 「閉会挨拶」

千葉県サッカー協会医学委員 齊藤 雅彦

